

BFREE 2024「バリアフリー技術、サービスに関する産学連携ワークショップ」の開催について

iU（東京都墨田区、学長 中村伊知哉、<http://www.i-u.ac.jp>）の准教授 落合 慶広と日本大学文理学部（東京都世田谷区、<https://www.chs.nihon-u.ac.jp/>）情報科学科の宮田 章裕 教授の共催により、2024年11月26日（火）午後、バリアフリー技術及びサービスに関する産学連携ワークショップ BFREE 2024 (<https://sites.google.com/view/bfree2024/>)を開催いたします。

障害者（要支援者）向けの技術、サービスだけでなく、広く一般の方にもご利用いただけるようにするための工夫などに関しても講演や意見交換を行いますので、様々な分野から多くの方のご参加をお待ちしております（参加費無料）。

■バリアフリーに関する産学連携ワークショップについて

iU と日本大学は、障害者や高齢者が社会生活を営む上で障壁（バリア）となる物理的、心理的、社会的な障壁を取り除かれた世の中を実現するため、バリアフリーに関わる技術やサービスの研究開発を進めてきました（※1）。この産学連携ワークショップ（BFREE 2024）では、こうしたバリアフリーに関わる産業界や大学の開発者、研究者の方々をお招きして、最新の研究開発状況や今後の構想などについてご講演いただくと共に、ご参加いただきます皆様との意見交換等を通じて、新しい技術の方向性や新たな応用の可能性を探ることを目的に開催いたします。

iU からは専任教員・准教授の落合慶広が、Talk5「災害時の共助避難の経路探索法」にて登壇すると共に、学生 2 名の発表を予定しております。また、実行委員として学生 1 名が参画いたします。

オンライン形式で開催しますので、任意の場所から、どなたでもご自由にご参加いただけます（参加費無料）。また、今まで関連がなかった分野の皆様からのご意見なども伺いしまして、新しい技術や応用の可能性を探りたいと考えておりますので、是非、ご参加下さい。

※1 iU,「日本大学とiUが2021年4月よりバリアフリー技術に関する共同研究を開始—柔らかな交通社会と災害に強い街づくりを目指して—」, <https://www.i-u.ac.jp/news/10317/>

■BFREE 2024 の開催概要

【日時】 2024年11月26日（火）13:00～17:30

【場所】 日本大学 文理学部キャンパス ラーニングcommons

【主催】 BFREE 2024 実行委員会（iU・日本大学の教員・学生による共催）

【参加費】 無料

【公式サイト】 <https://sites.google.com/view/bfree2024/>

参加登録は上記からお願いいたします。（参加登録〆切：2024年11月19日（火））

【プログラム概要】 次頁のポスターをご参照願います。最新版は、上記公式サイトにて公開いたします。

【BFREE Slack へのご招待】 本会合に合わせて、バリアフリー関係の開発者、研究者が、常日頃から開発や研究に関する相談や意見交換をするためのサイト：BFREE slack を開設いたしました。本ワークショップに参加登録をいただいた皆様には、順次、本 Slack へのご招待もさせていただきます。こちらもご活用いただけますよう、よろしくごお願いいたします。

2024.11.06 Ver.

BFREE^{*}2024

The Sixth Workshop on Barrier-free Technologies and Services

バリアフリー社会の実現を目指し、アクセシビリティコンピューティング、ユニバーサルデザイン、インタラクション、人工知能、シリアスゲームなどに関わる産学のプレイヤー同士が技術とサービスに関する議論を深めるワークショップです。

■日時 : 2024年11月26日(火) 13時

■場所 : 日本大学文理学部キャンパス ラーニングcommons (一部ハイブリッド)

■主催 : BFREE 2024実行委員会

■参加費 : 無料 (参加登録〆切: 2024年11月19日)

■公式サイト (参加登録はこちらから)

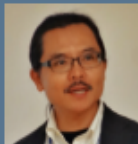


<https://sites.google.com/view/bfree2024/>

13:00-13:10 Opening

13:10-13:30 Talk 1

シリアスゲームの創り方 ~白内障と眼内コンタクトレンズ手術体験シミュレータへの応用~



日本大学 生産工学部 教授

古市昌一



日本大学 理工学部 助教

栗飯原萌

13:35-13:55 Talk 2

車いす利用者の外出: 各種バリアフリー情報を一体的に提供可能なルート案内システムの開発・運用経験から



埼玉大学 教育機構 教授

市川裕介

14:00-14:20 Talk 3

簡易特性把握とXRを活用した発達障がい者支援



日本電信電話株式会社

NTT人間情報研究所 研究員

萩山直紀

14:40-15:40 Interactive session

日本大学 文理学部 情報科学科 宮田研究室

情報経営イノベーション専門職大学

情報経営イノベーション学部 バリアフリーチーム

15:50-16:10 Talk 4

誰一人取り残さないために
~災害時の共助避難支援プラットフォームの検討



東京国際工科専門職大学

工科学部 情報工学科 教授

爰川知宏

16:15-16:35 Talk 5

災害時の共助避難のための経路探索法について



情報経営イノベーション専門職大学

情報経営イノベーション学部 准教授

落合慶広

16:40-17:00 Talk 6

車いす利用者の外出:
誰を何について支援することが必要か



津田塾大学 数学・計算機科学研究所

特任研究員

村山優子

17:10-17:30 Closing

BFREE 2024実行委員会



実行委員長

宮田章裕 (日本大学)

実行副委員長 : 落合慶広 (情報経営イノベーション専門職大学)

学生総合委員長 : 齊藤孝樹 (日本大学)

学生実行委員長 : 佐子柊人 (日本大学)

学生プログラム委員長 : 土岐田力輝 (日本大学)

学生実行委員 : 池田知樹, 藤本悠作, 藤井大輝, 滝本涼太 (日本大学),

川野瑛士 (情報経営イノベーション専門職大学)

学生プログラム委員 : 大久保歩香, 水留悟, 雨宮壮, 池田悠星 (日本大学)



<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。 起業数48、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。 結果、就職率97.5%。

連携企業731社、客員教員1,142人。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして、地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等88プロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う正課「eスポーツ」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■学長



京都大学特任教授、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiPI協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

■所在地

・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

・学生数：698名 ・専任教員数：27名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■学びの特色

「ビジネス」「ICT」「グローバルコミュニケーション」この3つが学びの柱

①論理的思考で世の中に**変革**を起こす【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習

さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

②情報通信技術の可能性を知る【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける

プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

③国境を越えて世界中の人と協働する【グローバルコミュニケーション】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、全員が在学中に起業にチャレンジ。希望者には事業化まで伴走するプログラムや資金提供、大学の所在地を使った登記などをサポート
- ・オンラインを活用した授業サポート：自ら積極的に学ぶための環境を用意

■ 育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp